

STB(セットトップボックス)重要確認事項

STB(セットトップボックス)重要確認事項

- 当社は、お客様に貸与した「STB(セットトップボックス)」(以下、STB)で外部接続ハードディスク(以下、外部接続HDD)を利用して録画・録音された内容が消失した場合、これにより生じた損害について、原因の何を問わず一切の補償をいたしません。また機器や放送の不具合等、いかなる場合であっても補償いたしません。
- 外部接続HDDをSTBに接続して録画用として登録すると、STBの外部接続HDDとしてフォーマット(初期化)しますので、それまで外部接続HDDに保存していたデータはすべて消去されます。
- ご解約の際にはSTBを撤去・回収いたします。(別途撤去工事費が必要です。)また、故障の際にはSTBを交換する場合がございます。STBを回収、交換した場合は外部接続HDDに記録された内容は消失いたします。また、転居後継続してご契約いただける場合についてもSTBの交換が必要なため、外部接続HDDに記録された内容は消失いたしますのでご了承ください。また、転居後継続してご契約いただける場合についてもSTBの交換が必要な場合は、外部接続HDDに記録された内容は消失いたしますのでご了承ください。
- 「デジタルコピー不可」の番組は外部接続HDDに録画できません。また、STBに接続したレコーダーへの録画もできませんのでご注意ください。
- 「1回だけデジタルコピー可能」の番組を外部接続HDDに録画した場合、レコーダーへダビングすることはできません。
※録画内容を恒久的に保存したい場合は、記録メディア等に保存することを推奨します。
- 「ダビング10」可能な番組を外部接続HDDに録画した場合、LAN接続されたデジタル録画機器にはダビング9回ムーブ1回が可能です。ダビングされた番組をLAN接続された録画機へムーブは可能ですが、再度ダビングすることはできません。LAN接続可能な機器については、お問い合わせください。
- 外部接続(LAN接続等)につきましては、お客様側で接続・設定していただきますようお願いいたします。当社にて設定をご希望の場合は有料になります。
- STBの分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造が判明した場合は別途定める機器代金を請求いたします。また、故意での故障対応も同等といたします。
- ご解約の際には、直ちにSTB機器一式をご返却いただけます。(別途撤去工事費が必要です。)なお、ご返却無き場合は、機器損害金をお支払いいただきます。
- 外部接続HDDの準備・設置・設定はお客様にてお願いいたします。当社にて設定をご希望の場合は、有料になります。
- 動作保証の外部接続HDDについてはお問い合わせください。(Panasonicのホームページでもご確認いただけます。)
- LAN録画を実行する場合は、有線LANでのネットワーク接続をご使用ください。無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、LAN録画が正常に実行されない場合があります。

■ 無線LANについて

- 別途、本機との接続に対応したアクセスポイント(無線ブロードバンドルータ)が必要です。
 - アクセスポイントはWPS対応であることをご確認ください。(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。)
 - IEEE802.11n(2.4GHz/5GHz同時使用可)のアクセスポイントをお選びください。なお、無線電波状況により、接続できない場合もあります。その場合は有線で接続してください。
 - アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコンなど)が接続できなくなることがあります。
 - 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。
 - 電波を使う機器から離してください。(電波障害が発生する場合があります。)
- 詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

ブルーレイ楽見録DX[デラックス]重要確認事項

- 当社は、お客様に貸与した「ブルーレイ搭載HDD内蔵セットトップボックス(以下、本機)で内蔵ハードディスク(以下、内蔵HDD)や外部接続ハードディスク(以下、外部接続HDD)を利用して録画・録音された内容が消失した場合、機器や放送の不具合等、いかなる場合であっても一切の補償をいたしません。
- 外部接続HDDを本機に接続して録画用として登録すると、本機の外部接続HDDとしてフォーマット(初期化)しますので、それまで外部接続HDDに保存していたデータはすべて消去されます。
- ご解約の際には本機を撤去・回収いたします。(別途撤去工事費が必要です)また、故障の際には本機を交換する場合がございます。本機を回収・交換した場合は、外部接続HDD・内蔵HDDに記録された内容は消失いたします。また、転居後継続してご契約いただける場合についても本機の交換が必要な場合は、外部接続HDD・内蔵HDDに記録された内容は消失いたしますのでご了承ください。
- 本機は、D端子、コンポジット端子はございません。テレビとの接続はHDMIケーブルで接続してください。
- 「デジタルコピー不可」の番組は録画できません。
- 本機は外部録画機への出力端子(i.LINK端子を除く)はございません。
- 本機では、内蔵HDD、外部接続HDD、ディスクの間でダビングを行うことができます。(内蔵HDDと外部接続HDD間はムーブ(移動)のみ、またブルーレイディスク(BDディスク)から内蔵HDDへはムーブバックのみとなります。)ダビングの詳細は本機の取扱説明書をご確認ください。
- 本機内蔵HDDに録画した番組をLAN接続されたデジタル録画機器へダビングすることはできません。(i.LINKケーブルで接続した一部録画機器のみダビングが可能です。ダビングが可能な接続機器については、お問い合わせください。)
- LAN接続されたデジタル録画機器の内蔵HDDおよび外部接続HDDに録画した番組を本機内蔵HDDにダビングすることができます。ダビングが可能な接続機器についてはお問い合わせください。
- 外部接続(LAN接続等)につきましては、お客様側で接続・設定していただきますようお願いいたします。当社にて接続・設定をご希望の場合は有料になります。
- 本機の分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造が判明した場合は機器損害金を請求いたします。また、故意での故障対応も同等といたします。

- ご解約の際には撤去工費をいただき、直ちに本機等機器一式をご返却いただけます。なお、ご返却がなき場合は、機器損害金をお支払いいただきます。
- 外部接続HDDの準備・接続・設定はお客様にてお願いいたします。当社にて接続・設定をご希望の場合は有料になります。
- 動作保証の外部接続HDDについては、お問い合わせください。(Panasonicのホームページでもご確認くださいませ。)
- 有線LAN接続を行う場合は、カテゴリ5以上のLANケーブルをご使用ください。
- 本機はお部屋ジャンプリンク(DLNA)機能を搭載し、サーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。各機器との接続はLANケーブルまたは無線LANで接続してください。(お部屋ジャンプリンク(DLNA)の再生は、無線LAN接続での動作保証をしていません。有線の接続をお勧めいたします。)

■ 無線LANについて

- 別途、本機との接続に対応したアクセスポイント(無線ブロードバンドルータ)が必要です。
 - アクセスポイントはWPS対応であることをご確認ください。(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。)
 - IEEE802.11n(2.4GHz/5GHz同時使用可)のアクセスポイントをお選びください。なお、無線電波状況により、接続できない場合もあります。その場合は有線で接続してください。
 - アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコンなど)が接続できなくなることがあります。
 - 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。
 - 電波を使う機器から離してください。(電波障害が発生する場合があります。)
- 詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

ケーブルプラスSTB 重要確認事項

- ケーブルプラスSTBで外部接続ハードディスク(以下、外部接続HDD)を利用して、録画・録音された内容を消去した場合、機器や放送の不具合等、いかなる場合であっても一切の補償をいたしません。
- 外部接続HDDをケーブルプラスSTBに接続して録画用として登録すると、ケーブルプラスSTBの外部接続HDDとしてフォーマット(初期化)しますので、それまで外部接続HDDに保存していたデータは全て消去されます。
- ご解約の際にはKCN京都およびKCN京都が指定する業者より、ケーブルプラスSTBを撤去・回収いたします。
- 故障の際にはケーブルプラスSTBを交換する場合がございます。
- ケーブルプラスSTBを回収、交換した場合は、外部接続HDDに記憶された内容は消去される場合があります。
- 「デジタルコピー不可」の番組は録画できません。
- 「1回だけデジタルコピー可能」の番組を外部接続HDDに録画した場合、DLNA対応機器へのムーブは可能ですが、ダビングすることはできません。(録画内容を恒久的に保存したい場合は、記録メディア等に保存することをお奨めします)
- 「ダビング10可能」な番組を外部接続HDDに録画した場合、DLNA対応機器にはダビング9回ムーブ1回が可能ですが、(LAN接続可能な機器についてはお問合せください)
- 外部接続との接続・設定(LAN、外部接続HDD等)は、お客様ご自身にてお願いいたします。当社にて設定をご希望される場合は、有料となります。
- LAN録画を実行する場合は、有線LANでのネットワーク接続をご使用ください。無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、LAN録画が正常に実行されない場合があります。また、無線LANまたはPLCでのネットワーク接続では、ケーブルプラスSTBとDLNA対応機器を直接有線LANで接続すると、インターネットに接続できません。ルータあるいは中継器経由でDLNA対応機器と有線LANで接続してください。
- ケーブルプラスSTBの分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造が判明した場合は機器損害金をお支払いいただけます。また、お客様の故意によりケーブルプラスSTBが故障した場合も、機器損害金をお支払いいただけます。
- ケーブルプラスSTBをご解約される場合は、撤去工費が発生し、ケーブルプラスSTBと付属品をご返却いただけます。ご返却がない場合は、機器損害金をお支払いいただけます。

■ 無線LANについて

- ケーブルプラスSTBは無線LAN(Wi-Fi)クライアント内蔵です。
 - ご契約内容により、接続方法や設定内容が固定されていることがあります。
 - ケーブルプラスSTBを無線LANネットワークに接続(本機の設定:「クライアント」)にする場合、対応した無線LAN親機となるアクセスポイント(無線ブロードバンドルータ)が必要です。
 - アクセスポイントは、WPS対応であることを確認してください。(WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要となります)
 - 無線LAN接続に関しては、電波状況により接続できない場合もあります。その場合は有線で接続してください。
 - ケーブルプラスSTBと他の無線機器との接続環境によっては、通信速度が遅くなる場合があります。
 - アクセスポイントの無線方式を切り替えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコン等)が接続できなくなることがあります。
 - 通信内容の傍受、不正利用、なりすまし等を防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。ケーブルプラスSTBには、標準でセキュリティ(ウィルスバスター)が設定されていますので、設定を無効にせず、そのままご利用いただくことをお奨めします。
 - 電波障害が発生する場合がありますので、電波を使う機器から離してご利用ください。(例:電子レンジ等)
 - DLNAによる再生は、有線での接続をお奨めします。無線で接続する場合は、ケーブルプラスRemoteのご利用をお奨めします。
 - ネットワークの接続構成を変更すると、重要な最新ファームウェアへの更新ができなくなったり、設定変更が行えなくなったりする可能性があります。そのため、変更は行わないでください。お客様で接続構成等、変更を行った場合は動作保証できません。
- 詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。